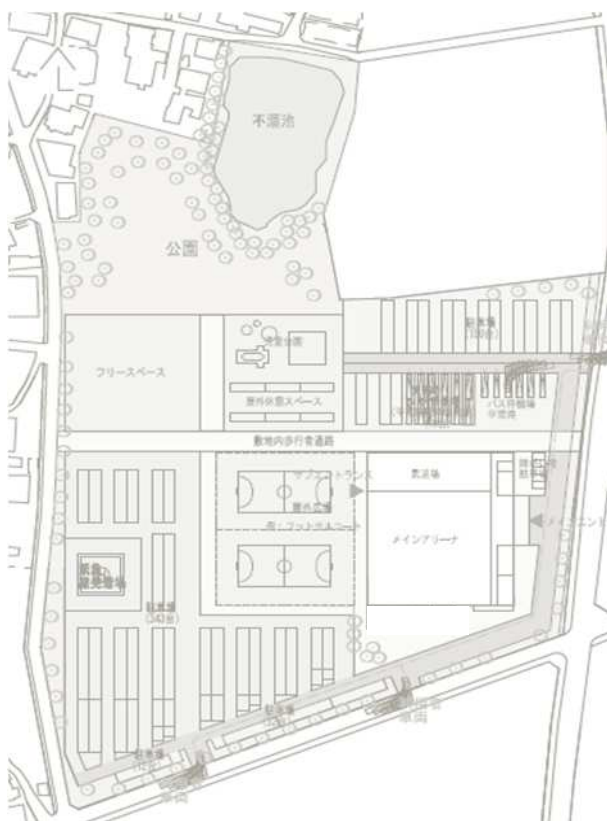


糸島市運動公園等整備計画



平成29年3月

糸島市

目次

運動公園等の整備に向けて.....	1
これまでの主な経過.....	2
系島市運動公園等整備計画.....	3
1 計画策定の目的.....	4
2 計画の位置付け.....	4
3 計画の内容.....	5
①導入機能・規模.....	5
②整備手法・運営管理方法.....	7
③整備費用.....	8
④資金調達と契約方法.....	8
⑤整備スケジュール.....	8
⑥実施事業の例.....	9
資料編.....	10
① 導入機能詳細.....	10
② 整備手法・運営管理方法比較表.....	12
③ 整備費用の試算表.....	13
④ 整備スケジュール詳細.....	14

運動公園等の整備に向けて

運動公園等の整備については、平成 24 年 3 月の第 2 回糸島市議会定例会における「総合運動公園の整備を求める請願」の採択に始まり、市議会調査特別委員会での調査、その後の「運動公園等の整備に関する方針」の決定、「糸島市運動公園等整備構想」の策定と、これまで市民の皆様へのニーズの把握に努めながら、真に市民の皆様が必要とされる運動公園等の実現に向けて、取組を進めてきました。

平成 28 年 3 月には、本市の最上位計画である「第 1 次糸島市長期総合計画後期基本計画」において、運動公園等の整備推進を定め、同年 6 月には、学識経験者をはじめ、スポーツ団体・行政区長・子育て支援団体・防災団体等の代表、公募による市民代表の 12 人で構成する糸島市運動公園等整備検討委員会を設置しました。

糸島市運動公園等整備検討委員会では、「運動公園等の整備に関する方針（平成 25 年 12 月）」、「糸島市運動公園等整備構想（平成 27 年 4 月）」等で決定した多目的体育館を中心とした運動公園等を整備すること、雷山運動広場周辺を整備場所とすること、運動機能・交流機能・防災機能・自然環境共生機能を持った運動公園等とすること等を前提とし、運動公園等の導入機能、規模、整備手法・運営管理方法、整備費用、整備スケジュール、実施事業について検討が行われ、平成 28 年 12 月に検討結果を取りまとめた「糸島市運動公園等整備計画検討結果報告書」が市に提出されました。

この検討結果報告書をしっかりと受け止め、スポーツを楽しむ人はもちろん、スポーツをしない人も、子どもも、高齢者も、障がいがある人もない人も、幅広く、より多くの市民の皆様にご利用してもらえ運動公園等を整備するため、今回、「糸島市運動公園等整備計画」を策定いたしました。

健康で明るく家族みんなで気軽に利用できる運動公園という市民の皆様への願いに応えるためにも、この計画を確実に実行し、運動公園等を整備しなければならないと考えています。

結びに、本計画の策定に当たり、ご意見・ご助言を賜りました皆様へ心から感謝するとともに、運動公園等の整備に向けてさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 29 年 3 月

糸島市長 月形 祐二



これまでの主な経過

平成 24 年 3 月

「総合運動公園の整備を求める請願」の採択

健康で明るく家族みんなで気軽に利用できる総合運動公園の整備を求める請願が市議会で採択される。

平成 25 年 9 月

糸島市議会の「総合運動公園等調査特別委員会」の調査報告

調査報告書では、総合運動公園等を整備する必要があると判断された上で、
(1) 総合運動公園等の施設に防災機能を備えること。
(2) 市民が真に必要とし、利用しやすい施設を整備すること。
(3) 最小限の費用をもって、最大限の効果が得られるように努めること。
の3つの提言がなされた。

平成 25 年 12 月

「運動公園等の整備に関する方針」の決定

特別委員会の調査報告書をはじめ、施設利用者アンケート、市民モニター調査、市民満足度調査等を行いながら、多目的体育館を中心とする運動公園等を整備する方針を決定する。

平成 26 年 8 月

「糸島市運動公園等整備構想検討委員会」の設置

学識経験者やスポーツ団体代表、行政区長代表、市民代表等で構成する委員会を設置し、市民アンケート等の結果を踏まえながら、導入機能の検討や整備場所の選定等を行う。

平成 27 年 4 月

「糸島市運動公園等整備構想」の策定

整備構想検討委員会の検討結果やパブリックコメント等の結果を基に、運動機能、交流機能、防災機能、自然・環境共生機能を備えた運動公園等を雷山運動広場周辺に整備する構想を策定する。

平成 28 年 3 月

「糸島市長期総合計画後期基本計画」の策定

公共施設等総合管理計画を踏まえて運動公園等の整備を推進する方針を掲げた第1次糸島市長期総合計画後期基本計画が市議会で議決される。

平成 28 年 6 月

「糸島市運動公園等整備検討委員会」の設置

学識経験者やスポーツ団体代表、行政区長代表、市民代表等で構成する委員会を設置し、運動公園等の導入機能、規模、整備手法、運営管理方法、整備費用、整備スケジュール、実施事業等を検討。検討結果報告書を取りまとめ、平成28年12月に市に提出する。

糸島市運動公園等整備計画

糸島市運動公園等整備計画

1. 計画策定の目的

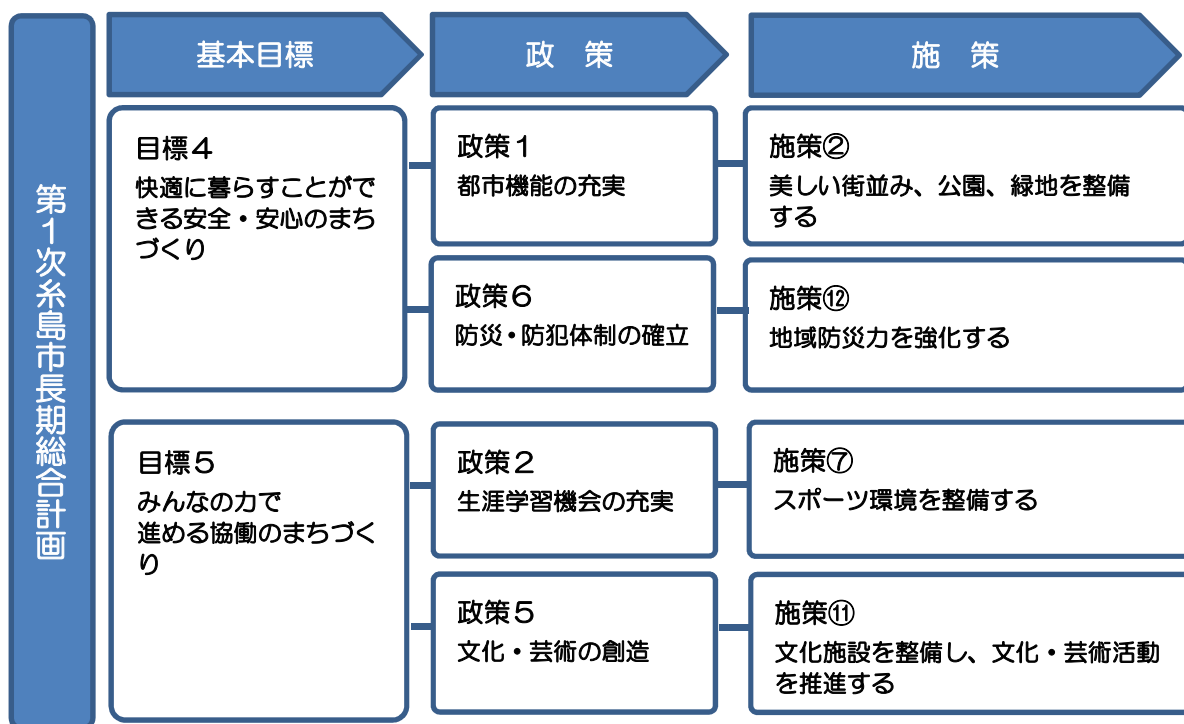
糸島市運動公園等整備計画検討結果報告書（平成 28 年 12 月）を踏まえ、「世代を超えて多くの市民が利用するスポーツの拠点」、「多くの市民が安心して集える交流の拠点」、「市民の命を守る防災の拠点」として、真に市民に必要とされる運動公園等の整備を実現するため、糸島市運動公園等整備計画を策定します。

2. 計画の位置付け

本計画は、運動公園等の整備に関する方針（平成 25 年 12 月）及び糸島市運動公園等整備構想（平成 27 年 4 月）を受けて、第 1 次糸島市長期総合計画後期基本計画に基づく計画とします。

なお、第 1 次糸島市長期総合計画後期基本計画においては、美しい街並み・公園・緑地の整備、地域防災力の強化、スポーツ環境の整備、文化・芸術活動の推進の面から多目的体育館を中心とした運動公園等を整備する方針を掲げています。

〈運動公園等の整備に関する糸島市長期総合計画後期基本計画の体系〉



3. 計画の内容

①導入機能・規模

運動公園等に導入する運動機能、交流機能、防災機能等について、ハード・ソフトの両面から、次のような機能が必要になると考えます。

- ・屋外でもバスケットボールなどの運動ができるスペースの整備
- ・障がい者もスポーツを楽しめる環境の整備
- ・かまどベンチなど、災害時の避難所としての機能の確保
- ・健康づくりなどにつながる運動が学べる場の提供
- ・子どもから高齢者までが楽しめるイベントの開催

そこで、このような機能を適正に確保するため、整備予定地のゾーニングとしては、西側の住宅地、北側の農地に影響を及ぼさないよう、多目的体育館は南東に配置すること、一定規模の大会やイベントの開催などを想定し、バス停やロータリーを設置すること、災害時を想定した駐車場とすること、子どもたちなどが集える公園を配置することを基本に整備を進めます。

運動公園等の導入機能・規模は、下記のとおりとします。

《 導入機能・規模 》

場所：雷山運動広場と周辺（糸島市蔵持 681 番地 1 他）

面積：約 58,000 m²

施設：多目的体育館（約 7,200 m²）、公園・ため池、児童公園・休憩スペース、フリースペース（グラウンドゴルフなど）、屋外運動スペース、駐車場・駐輪場 他

機能：〈運動機能〉 多目的体育館には、メインアリーナ、武道場等を整備します。また、観覧席を設けることで、一定規模の大会等も開催できるようにします。

障がい者スポーツ等が行える環境を整えます。

屋外運動スペース、フリースペース等でもスポーツを楽しめるようにします。

〈交流機能〉 公園、児童公園等の整備により、子どもから高齢者まで、多くの人々が運動公園等に集い、交流が図られるようにするとともに、多目的体育館では、成人式や各種イベント等が開催できるようにします。

〈防災機能〉 万一の災害時に、避難所や車中泊への対応を可能にするとともに、自衛隊、消防、警察、ボランティアの集結場所等、市の防災拠点としての機能を発揮できるようにします。

※各機能の詳細は、別紙資料①のとおり。

《 ゾーニングイメージ 》



※イメージであり、確定したものではありません。

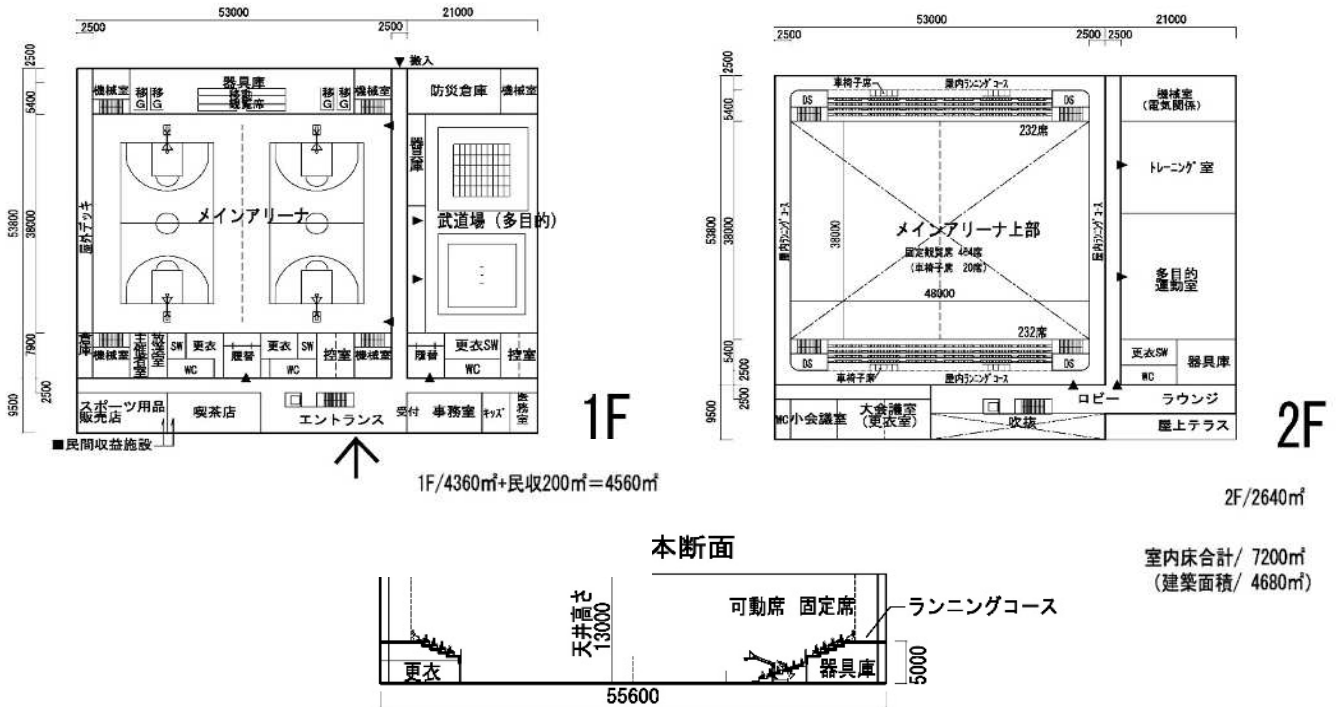
整備構想において、多目的体育館は約 10,000 m²を想定していましたが、将来の人口減少や財政状況、運動公園等の整備費用の縮減等を踏まえ、メインアリーナを縮小し、サブアリーナと弓道場を整備しないことにより、約 7,200 m²の規模とします。

多目的体育館の規模は縮小しますが、運動機能、交流機能、防災機能等は確保します。

規模縮小に当たり、弓道場については、限られた財源の中で、多くの市民が必要とし、最小限の費用をもって、最大限の効果が得られる運動公園等を整備するため、整備を見送ることとします。

ただし、弓道をする人の利便性を高めるため、学校などの施設の利用時間の拡大など、弓道を行える環境の充実に努めていきます。

《 多目的体育館のレイアウトイメージ 》



※イメージであり、確定したものではありません。

②整備手法・運営管理方法

平成27年度に実施した糸島市運動公園等整備に伴うPFI導入可能性調査の結果を基に、設計・施工・運営管理を個別に発注する方式、設計・施工と運営管理の2つに分けて発注する方式、設計・施工・運営管理を一括発注する方式の3つの方式に区分して検討を行い、下記の主な理由により整備手法は、設計・施工・運営管理を一括発注する方式（DBO方式）とします。

[主な理由]・整備費用、運営管理費用を最も縮減できる。

- ・運営管理の視点が設計・施工に反映されることで、利用者が使いやすい施設の整備が行える。
- ・スポーツ教室など、民間ノウハウを生かした各種事業の実施を見据えた施設の整備が行える。
- ・施設完成後のリスクを事業者と適切に分担できる。

ただし、地元への経済効果を発揮するためにも、事業者の選定に当たっては、地元企業の参画に配慮します。

また、市内のスポーツ団体などが優先して利用できるなど、市民が利用しやすい運営管理を行います。

※整備手法・運営管理方法比較表は、別紙資料②のとおり。

③整備費用

設計・施工・運営管理を一括発注する方式で整備費用の試算を行った結果、現時点において、運動公園等の整備費用は約 44 億 5 千万円。これに、近年の状況を参考に物価上昇率を 12%と想定し、整備時に必要な費用を試算すると約 49 億 4 千万円（合併推進債等の活用により市の実質負担：約 28 億 8 千万円）を見込んでいます。

※整備費用の試算表は、別紙資料③のとおり。

④資金調達と契約方法

各整備手法の長所・短所及び整備費用の両面から、設計・施工・運営管理を一括発注する方式としますが、整備費用を約 49 億 4 千万円として、学校施設環境改善交付金、社会資本整備総合交付金及び合併推進債を活用する場合、整備時に約 4 億 4 千万円の市費が必要となります。

この約 4 億 4 千万円については、財政運営上、市費（基金）により賄えるため、民間資金の調達は行わない DBO 方式とします。

※DBO (Design Build Operate)

PFI に類似した事業方式の一つで、民間資金の活用は行わないものの、民間のノウハウを生かした公共施設の整備やサービスの提供を行うため、設計、施工、運営管理を一括発注する方式のこと。

「D」=Design（設計） 「B」=Build（施工） 「O」=Operate（運営管理）

⑤整備スケジュール

運動公園等の整備に当たっては、地質調査・測量や用地買収、実施方針や要求水準書の作成・公表等を行い、その後、事業者の選定、設計、施工となります。

このことを踏まえ、運動公園等の供用開始は平成 35 年度とし、主な整備スケジュールとしては、次のとおりとします。

平成 29 年度：実施方針（案）の作成

平成 30 年度：実施方針及び要求水準書の作成・公表、地質調査・測量

平成 31 年度：用地取得、事業者の募集・選定

平成 32 年度：運動公園等の設計

平成 33 年度：運動公園等の整備

平成 34 年度：運動公園等の整備

平成 35 年度：運動公園等の供用開始

※具体的な整備スケジュールは、別紙資料④のとおり。

⑥実施事業の例

運動公園等の機能をじゅうぶんに発揮するためには、運動公園等で実施する事業も重要になります。

導入機能ごとの実施事業の例は下記のとおりですが、可能な限り要求水準書に盛り込み、多くの市民が利用する運動公園等を目指します。

なお、実施事業の費用については、市の委託事業とするか、事業者の自主事業とするか等、今後、最も効果的で費用がかからない方法を検討していくこととします。

また、実施事業を含む運営管理業務を円滑に進めるため、事業者、市、体育協会などによる運営調整会議を設置します。

《 実施事業の例 》

【 運動機能 】

多目的体育館、フリースペース、屋外運動スペース等で、多世代が多種目のスポーツを楽しめるようにするとともに、健康増進等にも繋げていく。

〈例〉

- ・医療機関、専門家等との連携による健康増進活動
- ・疾病予防に向けた運動機能の評価や運動指導
- ・スポーツ指導者による日常的な運動指導

など

【 交流機能 】

イベントや各種講座の開催等により、子どもから高齢者まで、多くの人が気軽に集える運動公園等としていく。

〈例〉

- ・障がい者スポーツを広げるための交流イベント
- ・親子で参加できる運動教室やメンタルヘルスなどのイベント
- ・多くの市民が集う産直物産展等の開催

など

【 防災機能 】

万一の災害に備えた市の防災拠点として、ハード面の整備だけでなく、日ごろから防災意識の向上に向けたソフト面の取組も進めていく。

〈例〉

- ・市役所の代替機能と災害対策機能を高める訓練の定期開催
- ・防災意識を高めるための防災イベントや体験活動
- ・災害時を想定した無線 LAN の整備と防災情報の発信

など

資料編

※掲載している数値等は、概算であり確定値ではありません。

資料

①導入機能詳細（予定）

(1) 屋内施設（多目的体育館）約7,200㎡

No	施設名称	整備概要	運動機能	交流機能	防災機能
①	メインアリーナ	48×38m、1,820㎡	<ul style="list-style-type: none"> 公式戦等の大会が行えるメインの体育館 大会開催時以外の一般利用も可能 観客席(1,500席以上)・空調設備・音響・照明の完備 バスケットボール、バレーボール、バドミントン、フットサル、卓球、柔道、剣道、空手など 柔道、剣道等ができる武道場 その他スポーツの多目的な利用 	<ul style="list-style-type: none"> 観客席やステージを活用して文化ホールとして利用 コンサート、成人式などの式典 学習会やワークショップでの利用 マルシェ(市場)、フリーマーケット等多目的な利用 	<ul style="list-style-type: none"> 一定程度の避難者数を収容する避難所として、避難者、ボランティアなどが使用することができるスペース
②	武道場	18×38m、680㎡	<ul style="list-style-type: none"> 柔道、剣道、空手など ヨガ、ダンスなど多様なスポーツに対応できるスタジオ ヨガ、ダンス、ニュースポーツ、ストレッチなど 	<ul style="list-style-type: none"> 各種イベント(式典・コンサート等) 	避難所
③	多目的運動室	400㎡	<ul style="list-style-type: none"> 筋力トレーニングや軽運動を実践できる器具を設置したトレーニング室 	<ul style="list-style-type: none"> 学習会やワークショップでの利用 	<ul style="list-style-type: none"> 避難所 災害活動拠点
④	トレーニング室	300㎡	<ul style="list-style-type: none"> ウォーミングアップ、健康増進、雨天時のランニングに利用できるランニングコース 	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進講座の実施や健康相談等を実施できる相談スペース 健康増進機器の設置 	飲料水や食料等の支援物資を集積するスペース
⑤	屋内ランニングコース	幅2.5m×約200m/1周	<ul style="list-style-type: none"> ウォーミングアップ、健康増進、雨天時のランニングに利用できるランニングコース 		飲料水や食料等の支援物資を集積するスペース
⑥	会議室	大会議室 100㎡ 小会議室 50㎡	<ul style="list-style-type: none"> 運動に関する講座や関連団体の会議開催のスペース 視聴覚設備の完備 	<ul style="list-style-type: none"> 各種イベント(式典・コンサート・健康増進・子育て支援) 	<ul style="list-style-type: none"> 市やボランティア、支援団体が活動するために必要な会議等のスペース 消防・警察・自衛隊等防災関係機関の集結スペース
⑦	シャワー室		<ul style="list-style-type: none"> 競技者が利用するシャワー室 		
⑧	ロッカールーム(着替え室)	※更衣・SW・WCを含む メインアリーナ男女 140㎡ 多目的運動室男女 70㎡ 武道場 70㎡	<ul style="list-style-type: none"> 競技者が利用するロッカールーム、更衣室 		

No	施設名称	整備概要	運動機能	交流機能	防災機能
⑨	授乳室、キッズスペース	35 m ²	・授乳、おむつ替え等スペース	・子育て相談や利用者の子どもの預かり等 ・子どもたちがのびのびと遊ぶことができるスペース ・子育て世代の交流の場	
⑩	医務室	30 m ²	・怪我や急病時の処置を行う室	・子育て相談や利用者の子どもの預かり等 ・健康増進相談スペース	
⑪	控室	メインアリーナ 50 m ² 武道場 50 m ²	・大会開催時の選手控室	・子育て相談や利用者の子どもの預かり等 ・子どもたちがのびのびと遊ぶことができるスペース ・子育て世代の交流の場	災害活動拠点
⑫	災害備蓄庫	180 m ²			・支援活動のために必要な防災資機材の備蓄スペース ・最大想定避難者数 4,300 人 (食糧2日分＋生活物資3日分) →必要備蓄面積 167.8 m ² ・防災関連資材の貸し出し・保管

(2) 屋外施設

No	施設名称	整備概要	運動機能	交流機能	防災機能
①	広場・公園	2ha 程度	・スポーツ利用者の利便施設 交流・レクリエーションスペース	・各種イベント(式典・コンサート・健康増進・子育て支援)	・テントスペース ・飲料水や食料等の支援物資を集積するスペース
②	駐車場・駐輪場	駐車場 600 台以上		・各種イベント(式典・コンサート・健康増進・子育て支援)	・自衛隊車両等の停車場 ・車中泊避難スペース
③	緊急用ヘリポート				緊急時にヘリコプターが離発着できるスペース

②整備手法・運営管理方法比較表

《 3つの方式と主な長所・短所 》

	設計・施工・運営を個別に3契約 (従来方式)	設計+施工と運営の2契約 (DB+O方式)	設計+施工+運営の1契約 (DBO/PFI方式)
スキーム			
主な長所	<ul style="list-style-type: none"> ○従来の契約方式であり、地元事業者のノウハウやスキルが生かしやすく、入札に参加しやすい。 ○基本的に単年度契約であり、事業者の倒産などによる事業中止リスクが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○設計、施工を一括発注するため、建設コストを抑制できる。 ○設計と施工を同一事業者が行うため、建物の構造や品質など、効果的な提案が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○設計、施工、運営を一括発注するため、DB+O方式よりも建設コストが抑制できる。 ○設計、施工、運営を同一事業者が行うため、利用者目線や管理・メンテナンスなども踏まえた施設整備が期待できる。 ○市民の憩いの場づくり、教室プログラム、収益手法など、民間ノウハウを生かした事業展開に適した施設整備が期待できる。 ○運営開始後に分かった設計・施工上の不備などは、事業者に対応させることができる。
主な短所	<ul style="list-style-type: none"> ×設計、施工、管理が個別契約となり、建設コストの抑制が難しい。 ×設計、施工、管理、それぞれが別事業者となり、施工面や管理面の意向やノウハウが設計に生かされない。 ×運営開始後に分かった設計・施工上の不備などは、市で負担しなければならない可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ×設計、施工と運営が別事業者となるため、利用者目線や管理・メンテナンスなど、運営面の意向が設計・施工に反映できない。 ×運営開始後に分かった設計・施工上の不備などは、市で負担しなければならない可能性がある。 ×運営事業者が5年程度で更新となるため、運営内容が短期間で変更になる場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ×従来方式やDB+O方式では発生しない費用や手間（SPC組成など）が発生する。 ×知識や実績が少ない地元事業者にとっては、参入しにくい。

[用語解説]

PFI (Private Finance Initiative)

民間の資金とノウハウを活用し、効率的、効果的に公共施設の整備やサービスの提供を行うため、設計、施工、運営管理を一括発注する方式のこと。

SPC (Special Purpose Company)

PFIで事業を実施する場合に、民間資金を調達することなどを目的に、設計、施工、運営管理の事業者で設立される特定目的会社のこと。

DBO (Design Build Operate)

PFIに類似した事業方式の一つで、民間資金の活用は行わないものの、民間のノウハウを生かした公共施設の整備やサービスの提供を行うため、設計、施工、運営管理を一括発注する方式のこと。

「D」=Design (設計) 「B」=Build (施工) 「O」=Operate (運営管理)

③整備費用の試算表

【1】整備費用

(単位:千円)

項目	内容	設計・施工・運営を個別に3契約 (従来方式)	設計+施工と運営の2契約 (DB+O方式)	設計+施工+運営の1契約 (DBO/PFI方式)	削減効果	
①	用地取得費	117,500	117,500	117,500		
②	事前調査費(敷地測量等)	45,455	45,455	45,455		
③	設計費、工事監理費	164,714	156,478	148,243	*	
④	造成費	266,409	253,089	239,768	*	
⑤	工事費	3,958,874	3,760,930	3,562,987		
	建物	多目的体育館 (7,200㎡)	3,384,000	3,214,800	3,045,600	*
		計	3,384,000	3,214,800	3,045,600	
	公園・広場	公園・広場 敷地内通路等	129,655	123,172	116,690	*
		計	129,655	123,172	116,690	
	外構	駐車場・車道	199,219	189,258	179,297	*
		雨水貯留施設	195,000	185,250	175,500	*
		屋外運動スペース	25,000	23,750	22,500	*
		外部トイレ 1か所	26,000	24,700	23,400	*
	計	445,219	422,958	400,697		
⑥	備品費 (トレーニング器具購入費用、開業準備費等を含む)	340,000	340,000	340,000		
【1】整備費用 合計		4,892,952	4,673,452	4,453,952		
【1】'整備費用 (12%物価上昇想定) 合計		5,428,798	5,182,506	4,936,214		

※別途、アドバイザリー契約(要求水準書作成等の支援業務)の費用(限度額)として、DB+O方式の場合20,000千円、DBO/PFI方式の場合35,000千円が必要となる。

【2】維持管理・運営費

	設計・施工・運営を個別に3契約 (従来方式)	設計+施工と運営の2契約 (DB+O方式)	設計+施工+運営の1契約 (DBO/PFI方式)	
【2】維持管理・運営費(単年度)	67,229	63,893	60,556	*

整備費用の資金調達内訳
(物価上昇12%想定)

	設計・施工・運営を個別に3契約 (従来方式)	設計+施工と運営の2契約 (DB+O方式)	設計+施工+運営の1契約 (DBO/PFI方式)
①交付金	490,000	490,000	490,000
学校施設環境改善交付金	290,000	290,000	290,000
社会資本整備総合交付金	200,000	200,000	200,000
②合併推進債(((1)'-①)*0.9) 10万円未満切り捨て	4,444,900	4,223,200	4,001,500
③一般財源(基金)	493,898	469,306	444,714
合計(①+②+③)	5,428,798	5,182,506	4,936,214
市の負担額(②*0.6+③)	3,160,838	3,003,226	2,845,614

DBO/PFI方式の場合の合併推進債償還イメージ

	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	合計	
I 合併推進債償還	元金		39,596	173,532	285,575	286,152	286,732	287,312	287,894	288,477	248,504	188,132	188,414	188,697	188,980	189,263	189,547	189,832	190,117	190,402	114,344	4,001,502	
	利息	2,372	6,439	7,173	6,892	6,531	5,953	5,374	4,793	4,212	3,629	3,074	2,656	2,374	2,091	1,808	1,524	1,240	956	671	386	129	70,367
II 交付税措置	949	2,576	18,708	72,206	116,842	116,842	116,842	116,842	116,842	116,842	100,631	76,315	76,315	76,315	76,315	76,315	76,315	76,315	76,315	76,315	76,315	45,789	1,628,748
実質市負担額(I-II)	1,423	3,863	28,061	108,308	175,264	175,263	175,264	175,263	175,264	175,264	150,947	114,473	114,473	114,473	114,473	114,472	114,472	114,473	114,473	114,473	68,684	2,443,121	

<費用試算の前提条件>

※平成27年PFI導入可能性調査報告を基に、建物、公園、広場、外構等の項目ごとの㎡単価等を算出し、従来方式の整備費用を試算。

※全国の類似施設の実績値等を基に、従来方式と比べてDB+O方式は5%の削減率、DBO/PFI方式は10%の削減率を想定し試算。(維持管理・運営費は光熱水費など、削減効果のないものも含むため、計算は一致しない。)

※近年の状況を参考に、整備時の物価上昇率は約12%と想定し試算。項目ごとに物価上昇の状況が異なるため、【1】*1.12の数値とは一致しない。

※数値は、端数処理のため、合計と一致しない。

糸島市運動公園等整備計画

平成 29 年 3 月

発行：糸島市企画部企画秘書課

〒819-1192

福岡県糸島市前原西一丁目 1 番 1 号

TEL 092(323)1111 FAX092(324)0239